

「花言葉」ってなに？

一つひとつの花に、それぞれのとくちょうにあう象徴的な意味をもたせた言葉を「花言葉」といいます。人びとが自分の思いを花にたくして、相手に伝えるための手段として、古くから世界中の人びとのあいだで使われてきました。

花言葉がいつ生まれたのか、はっきりしたことはわかっていません。ギリシャやローマの神話、聖書の言葉をベースに、ものに思いをたくして相手に伝える「セラム」

というトルコの習慣があわさったとする説があります。

その後、1800年代にフランスで花言葉の本が多く出版され、とくに1819年ごろにラトゥールという女性の書いた『花言葉』が、花言葉の広まるきっかけになりました。また、19世紀のイギリスでは、女性が外出するときに小さな花をもつのが流行し、そのときの思いをあらわす花言葉がよく使われるようになったといわれています。



いろいろな花言葉 ～ギリシャ・ローマの神話～

一つの花にたくさん花言葉があることは、めずらしくありません。これは、古代の神話や聖書など、由来がことなるからです。日本でも明治時代に花言葉が広まってからは、この国独自の花言葉もたくさん生まれています。

花言葉のなかで多いのが、古代のギリシャやローマの神話に由来するものです。

神話とは、宇宙や人間、動物・植物、文化などのさまざまなものの起源や存在理由などを、人が生きる自然界の法則などを

こえた存在である神や英雄とむすびつけて説明したお話のことで、日本にも古くから伝わる数多くの神話があります。

ギリシャ神話は、紀元前の古代ギリシャの時代から伝わるお話で、主神ゼウスを中心に、多くの神々や英雄が登場します。その後、古代ローマでギリシャ神話をもとに生まれたのがローマ神話です。

これらの神話には、花にまつわるお話が多く、花言葉だけでなく、花の名前の由来になっているものもあります。



春

はる

バラ

- 🌿 分類：バラ科バラ属
- 🌍 原産：北半球の温帯
- 🔍 別名：ソウビ、ショウビ
- 📅 開花期：5～12月

たくさんの花びらととげがとくちょうのバラは、「花の女王」とよばれるほど世界中で愛される花で、数万種もの園芸品種があります。バラといえば愛する人におくる花ですが、黄色い花の「嫉妬」のように、花の色などによって、花言葉がちがいます。



花言葉

(赤) 愛・情熱
(黄) 嫉妬・裏切り
(ピンク) 上品

コラム

ナポレオン妃・ジョゼフィーヌが愛したバラ

19世紀のフランスの皇帝ナポレオンの最初の妻ジョゼフィーヌは、とてもバラが好きで、ヨーロッパ中のバラを集めて宮殿の庭園で育てました。その種類はおよそ250種。ジョゼフィーヌのバラは、彼女に仕えた画家ルドゥーテが描いた『バラ図譜』に記録され、今に伝えられています。

カーネーション

- 🌿 分類：ナデシコ科ナデシコ属
- 🌍 原産：南ヨーロッパ、西アジア
- 🔍 別名：ジャコウナデシコ、オランダセキチク
- 📅 開花期：4～6月



フリルのような花びらがとくちょうのカーネーションは、「母の日」のおくりものの定番です。この習慣は、あるアメリカの女性が、母の命日に母が好きだったカーネーションを教会でくばったことがきっかけで広まりました。母の花であるカーネーションの花言葉の多くが、「愛」に関するものです。

花言葉

無垢で深い愛
(赤) 母への愛
(白) 純粋な愛

モクレン

- 🌿 分類：モクレン科モクレン属
- 🌍 原産：中国
- 🔍 別名：シモクレン(紫木蓮)、モクレンゲ、モクヒツ
- 📅 開花期：3～5月



花言葉

自然への愛

古くはランの花に似ていることから「木蘭」とよばれていたモクレン。世界でもっとも古くからある花のひとつで、1億年以上前のものとされる化石が発見されています。花言葉の「自然への愛」は、モクレンが上を向いて花を咲かせることにちなんでいます。



花言葉
あなただけを
見つめる、
あこがれ

ヒマワリ

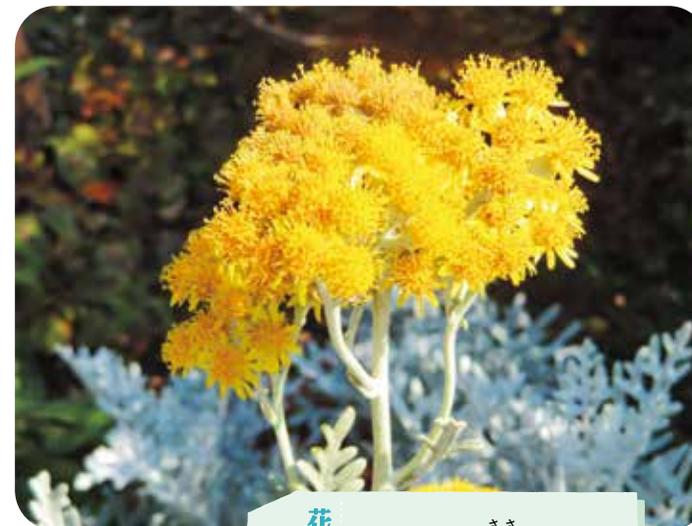
- 📌 分類：キク科ヒマワリ属
- 🌍 原産：北アメリカ
- 🔍 別名：ニチリンソウ、ヒグルマ(日車)、ヘリアンサス、ソレイユ
- 🗓️ 開花期：7～9月

太陽に向かって黄色い大きな花を咲かせるヒマワリは、16世紀以降に、アメリカ大陸からヨーロッパに伝えられました。花言葉にもあるように、ヒマワリはつぼみのあいだ太陽を見つめるように咲きますが、花が咲くと東を向きます。古代インカ帝国では、ヒマワリは太陽神のシンボルとされていました。

コラム

いろんな使い方ができるヒマワリのたね

ヒマワリのたねには、絵の具の材料や食用油など、さまざまな利用法があります。また、ミネラル分が豊富なので、そのまま食べたり、火であぶったものをコーヒーのようにして飲んだりすることもできます。



花言葉
あなたを支えます

シロタエギク

- 📌 分類：キク科キオン属
- 🌍 原産：地中海沿岸
- 🔍 別名：ダスティーミラー
- 🗓️ 開花期：6～9月

「ダスティーミラー(汚れた粉屋)」という別名は、葉や茎に、白や銀色の粉がついているように見えることに由来します。夏には黄色い花を咲かせますが、寒さに強い一年中花壇で見られます。花言葉は、寄せ植えで主役の花を引き立てることからつけられました。

アガパンサス

- 📌 分類：ヒガンバナ科(ユリ科) アガパンサス属
- 🌍 原産：南アフリカ
- 🔍 別名：ムラサキクンシラン(紫君子蘭)
- 🗓️ 開花期：5～8月

ブルーやうす紫色の、小さなユリのような花をたくさんつけるアガパンサスは、古代ギリシャ語で愛を意味する「アガペ」と、花を意味する「アンサス」をあわせて名づけられました。花言葉もそれに由来しています。ヨーロッパでは、古くから恋人におくる愛の花として親しまれてきました。

花言葉
恋のおとずれ、
ラブレター

